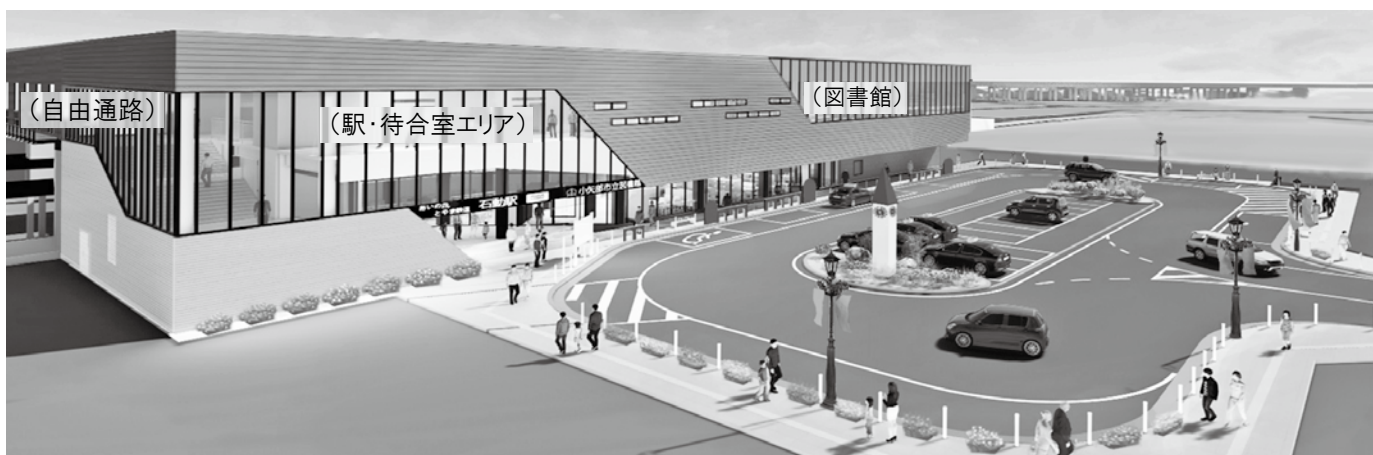


変わりゆく小矢部 石動駅リニューアルへ

石動駅のリニューアル工事が始まります。

駅舎は図書館との合築施設となり、また、南北自由通路により駅南からも直接アクセスできるようになります。石動駅の利便性向上と中心市街地のさらなる活性化が期待されます。



上段：リニューアル後の石動駅（イメージ図）
下段：現在の石動駅



補正予算の概要	2	委員会報告・議長交際費	12
審議経過・人事案件	2	市外からの行政視察	13
審議議案・議員別賛否状況	3	次回議会日程	13
代表・一般質問	4~8	傍聴のお知らせ	13
閉会中委員会開催状況	9~10	会務報告・編集後記	14
行政視察報告	10~11		

一般会計補正予算・条例改正など

8議案を議決しました

12月6日から20日までの15日間を会期として12月定例会を開会しました。
 12月定例会では、市長から平成28年度小矢部市一般会計補正予算、条例改正、工事委託契約の締結、小矢部市公平委員会委員の選任同意についてなど8議案が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。
 なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成27年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び平成27年度小矢部市一般会計歳入歳出決算などの議案について、それぞれ原案のとおり可決・認定しました。
 その他、議員派遣を可決しました。

◎ 12月補正予算の概要

議案第50号 平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第3号)

補正額 6億7,391.5万円 累計予算額 156億7,554.1万円

《主な事業》

- ・臨時福祉給付金給付事業費 7,459.7万円
消費税率引上げ延期に伴い、国の経済対策の一環として支給するもの
- ・水田農業経営体活性化対策事業費 1,870.3万円
農業用機械の取得等を行う(農)小神宮農、(農)ファーム浅地に対する助成
- ・道路維持補修費 1,314.2万円
市道平田下中線の舗装修繕を行うもの(事業認証による増額)
- ・橋梁整備費 4,000万円
鴨島橋の補修を行うもの(事業認証による増額)
- ・市民体育館耐震補強事業費 4億2,890万円
市民体育館の耐震補強及び大規模改修工事を行うもの
- ・スポーツ振興事業費 210万円
小矢部ホッケー場のホッケーゴール・ベンチ及び小矢部陸上競技場のハードル等の備品を購入するもの(寄附金を活用)

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課 予算情報ページをご覧ください。

12月定例会の 審議経過

(会期15日間)

6日	本会議(提案理由説明) 全員協議会
7日	議案調査日
8日	議案調査日
9日	議案調査日
12日	議会運営委員会
12日	本会議(代表・一般質問)
13日	本会議(一般質問)
14日	民生文教常任委員会
15日	産業建設常任委員会
15日	総務常任委員会
16日	駅周辺整備特別委員会
16日	人口対策等特別委員会
19日	議案調査日
20日	議会運営委員会 委員長会議 全員協議会 本会議(質疑・討論・表決他)

人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

太田 おおた
むつ子 こと



12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)			議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
その他	議案第49号	平成27年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
決算認定	認定第1号	平成27年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第2号	平成27年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第4号	平成27年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第5号	平成27年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第6号	平成27年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号	平成27年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	平成27年度小矢部市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
補正予算	議案第50号	平成28年度小矢部市一般会計補正予算(第3号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	議案第51号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について ・特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	小矢部市職員の給与に関する条例の一部改正について ・平成28年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の給与に関する法律の一部改正に準じ、条例の一部を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号	小矢部市税条例の一部改正について ・地方税法等の一部を改正する法律及び所得税法等の一部を改正する法律に基づき小矢部市税条例における関係部分について、条例の一部を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について ・所得税法等の一部改正に伴い、特例適用利子等及び特例適用配当等に係る国民健康保険税の課税の特例を定めるため、条例の一部を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	小矢部市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について ・とやま呉西圏域連携協約の締結にあたり、子ども福祉支援相互連携事業において、呉西6市の子ども医療費助成の助成方法を現物給付に統一して利用者の利便性の向上を図ることになったことに伴い、条例の一部を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第56号	工事委託契約の締結について ・石動駅施設及び南北自由通路建築工事委託契約の締結を行うもの。 契約相手：あいの風とやま鉄道株式会社 契約金額：1,514,000,000円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第5号	小矢部市公平委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は2ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は表決に加わりません



会派「誠流」
石田 義弘 議員

- ◎平成29年度予算編成について
- ◎石動小学校地震改築事業に伴う補助金返還について
- ◎平成30年産米からの対応について
- ◎定住促進対策の今後の取り組みと現状における課題について
- ◎高齢化社会に対応した環境整備について

◎平成29年度予算編成について

質問 第6次小矢部市総合計画の進捗状況と今後の見通しはどうか。また、新年度予算編成に対する考え方と今後の市の方向性、新年度予算の重点施策について、当局の見解を問う。

市長 都市機能の再構築、人口増加に向けた対策などを掲げ、重点的に進めてきた。毎年度、行政評価による事務事業の進捗状況等を管理・評価・検証しており、この評価結果に基づいて議会に報告したい。また、予算編成に当たり、平成27年度決算に係る意見などを念頭に置き、健全財政維持を指針として、第6次小矢部市総合計画に基づく計画的な市政を推進したい。また、重点施策は、石動駅周辺整備事業と人口増対策である。南北自由通路及び駅施設は平成29年度内の完成を目指しており、事業の進捗に鋭意努めたい。

◎石動小学校地震改築事業に伴う補助金返還について

質問 石動小学校地震改築事業に当たり、会計検査院より補助金の過大交付が指摘されている

が、このような事態に至った経緯と今後の再発防止に向けた取り組みについて伺う。

市長 平成27年12月に受検した会計検査において、交付金対象面積の誤りが指摘された。今回の場合は、不正、不当とは認められず、加算金はない。今後はチェック体制等を改め、関係機関との連絡を密にするなど、全庁を挙げた再発防止対策に取り組んでいきたい。

◎平成30年産米からの対応について

質問 平成30年産米以降、国は生産調整を行わないなど、生産者としては先が読めない状態である。制度はどのように変わるのか。生産者に対して迅速な情報提供等の対応を願う。

市長 国による生産数量目標配分廃止の対応については、県農業再生協議会で検討を進めてきたところであり、年内には方針が示される予定である。また、国では、平成30年以降も収入減少影響緩和対策や水田活用の直接支払交付金を継続し、米の需給調整を支援することとしている。

る。市としては、生産者が農業に取り組みやすい制度となるよう検討していくとともに、制度周知や情報提供については、J Aいなばと連携して、各地区に情報が行き届く体制整備に努めていきたい。

◎定住促進対策の今後の取り組みと現状における課題について

質問 全国的な人口減少の中で、全国各地でもさまざまな対策が講じられており、他市との差別化や、子供たちの地元定着化、産み育ててもらえるような大胆な施策や対応が必要であると考える。定住促進対策の今後の課題と方向性について、当局の見解を問う。

市長 東京への一極集中を是正するため、本市の定住促進対策事業の認知度をより一層高めることにより若年層の転出を抑制し、東京圏から若年層の帰郷を図る取り組みを実施したい。あわせて、根本である出生率を上げるための婚活支援や不妊治療対策、子育て支援などに取り組んでいきたい。

◎高齢化社会に対応した環境整備について

質問 寿永荘は老朽化により毎年のように改修を要し、また、その他の課題も山積している。今後どう対応するのか。また、健康寿命を維持するためにも、年間を通じて生涯スポーツができる施設などが必要だと考えるが、施設整備の今後の対応について、当局の見解を問う。

市長 社会福祉施設等あり方審議会より提出される答申書の内容をできる限り尊重し、今後策定する第7次小矢部市総合計画などでその将来像を示したい。また、パークゴルフ場などの施設整備については、一定の広がりをする用地の取得や財源の確保が必要であり、今後、これらの課題について調査を行っていきたい。



長期的な展望に立ち、まちづくりの方向性を示した「総合計画」



- ◎高齢者運転事故について
- ◎障害者の健康づくりについて
- ◎療育手帳について
- ◎ふれあいセンター（タワーの湯）利用者数減少について
- ◎災害対策について



嶋田 幸恵 議員

質問 高齢ドライバーによる事故の対策として、自身体独自での実車テストを行うなどの考えはないか。

民生部長 毎年警察等と連携して企画している「高齢ドライバー交通安全教室」などを通じて、本人に衰えを自覚してもらう趣旨の実車講習の実施を、関係機関と検討していきたい。

質問 聴覚・視覚障害者を対象にした健康講座を年4回程度実施できないか。

市長 障害者の方々の心身の健康増進を図るために、関係団体等と調整・連携し、障害者本人や障害者団体の要望を踏まえ、内容や頻度について検討させていただき、これからも障害に配慮した健康づくりの取り組みに努めていきたい。

質問 タワーの湯の利用者が年々減少している。市公衆浴場組合と協議を行い、入浴料金を値下げできないか。

民生部理事 公衆浴場の利用促進やタワーの湯の入浴料金に関して、市公衆浴場組合

※その他、次の質問がありました。
「療育手帳について」

合と一度協議を行いたい。
質問 大きな災害の際に、避難所に指定されている公民館等の施設の2階へ避難を余儀なくされることもあるが、担架や車椅子利用者が2階に上がる際に不便であることが多い。避難所の点検をどのように行っているのか。見直しが必要ではないか。

総務部理事 避難所を指定する際、構造等が耐震基準などに合致するかの検討をしており、通常の点検については施設の維持管理点検を行っているのが現状である。避難時の生活の場が2階であるなど、高齢者等には利用しづらい施設もあることから、避難所運営時には部屋の配置に配慮するなど様々な対応が必要となる。今一度、市全体の避難所の点検を行いたい。



高齢ドライバーの事故防止対策

一般質問

- ◎本市の職員の勤務体系とワークライフバランスについて
- ◎人口減少社会における行政の役割について



白井 中 議員

質問 本市職員のワーク・ライフ・バランスについて改善は見られるか。

総務部長 近年は、時間外勤務時間数が減少傾向にあり、育児休業の取得者も年々増加するなど、職員の意識改革も着実に定着している。引き続き、ワーク・ライフ・バランスの啓発を積極的に推進していきたい。

質問 各種統計によると、本市の人口及び労働生産年齢人口が減少していく傾向が見受けられる。この危機的状況を食い止める対策について当局の見解を問う。

企画政策部長 おやベルネサンス総合戦略では、小矢部市人口ビジョンに掲げた平成72年の人口規模2万2千人の確保維持に向け、アウトレットモールの開業効果などを活かし、「地場産業の振興と若者や女性に魅力のある雇用の創造」など4つの基本目標を柱とした施策を展開していくこととしている。ここに掲げる施策や事業を着実に推進し、PDC Aサイクルによる検証を

行い、改善を図りながら、定住人口の増加に向け取り組んでいきたい。

質問 シルバー人材センターにおいて、新規事業の訪問型生活介護支援サービスを開始したが成果は出ているか。また、要望があれば介護や育児等の新しい分野を開拓しようという意向はあるか。

民生部長 訪問型生活介護支援サービスは、新規事業であり、認知度もまだ低く、これからという状況である。シルバー人材センターでは、地域の要望があれば新たな分野へのサービスに取り組みたい意向ではあるが、まずは今回始めた訪問型生活介護支援サービスを軌道に乗せることを優先し、その上で次の展開を考えたいとのことである。



少子化・人口減少を克服し、活力ある地域の維持を目的に策定された「おやベルネサンス総合戦略」

- ◎小矢部市地域防災計画について
- ◎人口・定住促進について
- ◎稲葉山周辺整備について



山室 秀隆 議員

質問 鳥取県中部地震では、被災した市町では、災害時に行政機能を維持するため事業継続計画を整備していたが、庁舎機能の移転先に想定していた施設の電話回線が1回線しかなく移転先を変更したことや、災害者に対応する職員が不足するなどの課題が浮き彫りになった。本市は問題ないか。

総務部理事 本市において庁舎機能の移転先として想定している総合保健福祉センターでは15回線、同じく、津沢コミュニティプラザでは4回線使用できる。マンパワーに関する訓練としては、毎年、非常時職員参集訓練を実施している。今後、最少人数での初動対応等について検討したい。

質問 高校への出前講座で、富山県の生活のしやすさや、「おやべで暮らそう」の話をするなどで、県外進学者等の就職時の地元リターンにつなげられないか。

副市長 高校とも打ち合わせ、「おやべで暮らそう」などの定住支援制度に関する



定住支援制度をまとめた絵本「おやべで暮らそう」

る出前講座の実施について、要望があれば対応したいと考えている。今後とも各高校と連携を取りながら、若者に対し、本市の各種定住支援制度の周知に取り組んでいきたい。

質問 現在、市で計画している稲葉山中長期ビジョンの進捗状況について伺う。

産業建設部長 稲葉牛ブランドの商品価値を高め、採算性と効率性の高い牧場経営を目指したいと考えている。観光面においては、アウトレット開業を契機とし、観光客を増加させたいと考えている。本ビジョンの策定に当たり、稲葉山の施設面に関するアンケート調査を実施しており、この内容を踏まえ、より魅力的な観光資源となるよう本ビジョンを取りまとめたい。

- ◎メルヘンの魅力づくりについて
- ◎いじめのない学校づくりについて



中野留美子 議員

質問 メルヘンに特化したまちづくりをしている自治体や地域と、知恵の共有や交流を図ることなどにより、本市に定着したメルヘンのイメージを生せるのではないかと考える。当局の見解を問う。

企画政策部長 多くの公共建築がメルヘン風の建物であるまちは全国で本市のみと考えているが、風景や環境がメルヘン的なまちはどこかに存在していると思う。該当する自治体や地域があれば、どのようななかかわり方ができるのか様々な観点から検討していきたい。

質問 本市では、平成26年に「いじめ防止基本方針」が制定されたが、制定に伴ういじめの改善状況について伺う。

教育委員会事務局長 学校毎にいじめ防止基本方針を策定したことにより、いじめ防止組織が校内に設置され、いじめの未然防止や早期の発見・対応などについて、より迅速で適切な対応が図られるようになった。

質問 いじめを撲滅するためには、いじめがない学校を評価するのではなく、いじめを解決した学校を評価する仕組みが必要だと考える。当局の見解を問う。

教育委員会事務局長 国からは、「いじめの発生状況、学校基本方針に基づく取組状況等を学校評価の評価項目に位置づけるよう促す。学校基本方針において、いじめ対策の達成目標を設定し、年間を通しての取組内容について計画を定め、学校評価においては目標の達成状況を評価する。」という方向性が示されているところであり、今後、具体的な方策が示される予定である。本市としても、校長会等で検討を深めるなど、いじめの認知や対応について、今後とも周知徹底を図ってきたい。



学校でのいじめ問題

◎おやベルネサンス総合戦略について
 ◎公共施設老朽化問題について
 ◎高齢者による交通事故防止対策について



藤本 雅明 議員

質問 昨年、北陸大学と包括連携協定を締結し、石動駅利用状況調査を実施していたが、現在の高等教育機関との連携事業の状況や、その実績を踏まえた今後の取り組み方針について伺う。

市長 北陸大学のほか、富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校と連携している。一例として県立大学とは、昨年度、アウトレツトの交通調査及び利用者の意識調査等を行い、今年度は、ドローンによるメルヘン建築の空撮等の活動をしている。これら4校について、今後とも継続・発展し連携事業を進めていきたい。

質問 ことばの教室について、利用者数が年々増加しており、現在は週3日実施しているが、不足していると感じている。週5日実施できないか。

民生部理事 近年、特別な支援を要する子供が増加している。早期発見、早期支援が重要であり、専門員などが保育所等を訪問し、対象児童の早期把握に努めている。その他、次の質問がありました。「高齢者による交通事故防止対策について」

質問 臨床心理士等の確保を図り、引き続き開設日数の拡充や指導内容の充実に努めていきたい。

質問 他市では、公共施設再編に向けて、既に住民説明会を実施するなどの動きがある。本市も、もっとスピード感を持ってこの作業を進めなくてはならない。本市として公共施設の再配置にどう取り組むかが大事である。当局の見解を伺う。

総務部長 30年後のまちづくりのために本来に必要な施設は何か考え、再編計画の策定が必要であると考えている。再編に当たり、市民の皆様のご理解とご協力が必要であり、市報、出前講座等での説明をし、意見の聴取を行い、迅速に進めていきたい。



言語発達などに問題を抱えている子に支援を行う「ことばの教室」

一般質問

◎パリ協定の具体化で地域循環型経済を
 ◎あいの風とやま鉄道の活用促進策を
 ◎教育条件の改善について
 ◎介護従事者の処遇改善について



砂田 喜昭 議員

質問 パリ協定に基づく温室効果ガス削減に向けて、本市としても温室効果ガス削減を施策の柱の一つに据え、その手段を検討することが求められる。これを市の第七次総合計画の一つの柱として位置づけ、そのために市民や専門家を集めて検討をするべきではないか。

民生部長 温室効果ガス排出量の削減等のため、地方公共団体実行計画の策定が義務づけられているところであり、市民や専門家による実行計画を策定し、第七次総合計画においても今後の施策を定めていきたい。

質問 あいの風とやま鉄道の石動駅での折り返し運転について、その実現には施設の整備等に約2億6千万円要するそうであるが、石動駅の利便性向上のために市として諦めずに実現を求めていたいただきたい。

企画政策部長 高岡駅での折り返し運転を金沢駅での折り返し運転に延伸させ、石動駅の運行本数を増加させることにより、利用者等の声を踏まえた利便性の向上を図られるよう、あいの風とやま鉄道や富山県へ要望していきたい。

質問 本市は独自の取り組みとして、小学校1、2年生の30人を超えるクラスに多人数学級支援講師を配置しているが、これを小学校全学年で実施できないか。

教育長 現在、小学校3年生までの拡大を検討・協議しているところであり、まずは3年生の教育の充実に向け、多人数学級への対応も含めた検討を進めたい。

質問 介護従事者の人材確保問題の解決のためには、養成校の授業料を全て免除するなどのことをしないと、当局的対応について伺う。

市長 人材確保は非常に重要であると認識しており、機会を捉えて国などに働きかけていきたい。



石動駅



加藤 幸雄 議員

質問 本市の1人当たり医療費は県平均を上回る水準であるが、その要因と対策についてどのように考えているのか。

民生部長 1人当たり医療費については、外来部門の県内比較では下位であるが、入院部門では上位になる項目が多いことから、重症化してから受診する傾向が伺える。対策として、引き続き特定健康診査事業を推進し、本市の国保事業における保健事業の具体的な取り組み策を掲げたデータヘルス計画に従い事業を推進していきたい。

- ◎高齢者の問題について
- ◎少子化問題について
- ◎駅周辺整備について

市長 縁結び交流サロンでの相談件数は、年々増加している。また、婚活セミナーやアウトレットの観覧車を利用した少人数の合コンを開催するなどして、出会いと成婚に向けた事業を展開することにより、婚姻数

の増加に結びつけたいと考えている。

質問 石動駅に併設される図書館について、ターゲットとする利用者についてどのように考えているのか。

教養委員会事務局長 新図書館については、気軽に立ち寄って居心地よく学べる図書館を基本理念としており、子供から高齢者まで全ての世代が利用できる施設として整備する。特に、駅改札口に近い2階入り口付近には、ティーンズ世代をターゲットとしたコーナーを配置することにより、駅を利用するティーンズ世代を取り込み、にぎわいを創出するとともに、本に親しむことにより、知的好奇心を高めさせる効果を期待している。



婚活支援事業
男性コミュニケーション講座

- ◎鳥獣被害防止対策事業の推進について
- ◎土地改良施設の更新事業の推進について
- ◎小矢部型稼げる農業創造事業について
- ◎交流人口増加に向けての取り組みについて
- ◎生徒数の減少に伴う部活動のあり方について



義浦 英昭 議員

質問 鳥獣被害防止特措法改正に伴う、今後の本市の取り組み方針について伺う。

産業建設部長 この改正に伴い、恒久的な侵入防止柵の設置や捕獲したイノシシの処理負担の軽減などに努めたいと考えている。非農地への侵入防止柵の設置については、国の助成の対象外であることから、研究・協議を続けていきたい。

質問 小矢部川以西は中山間地域も抱え、用排水路や暗渠排水、ため池等を整備する必要はあるが、これらを更新するためには相当の予算の確保を要するため、その要望化に向けた準備が肝要であると考えている。今後の方針について当局の見解を問う。

産業建設部長 小矢部市土地改良区と連携しながら、整備が必要な施設の把握や事業制度の勉強会などをし、県の関係機関とも調整を図り、事業化に向けた準備を進めたい。

質問 小矢部型稼げる農業創造支援事業における具体

的な内容や取り組み体制等について当局の見解を問う。

産業建設部長 ハトムギを利用した新商品の研究・開発や、おやべ産米のブランド力の向上を図るため、米の食味値分析計の導入や土壌分析肥料設計委託等を予定している。事業の推進に向けて若手の農業者を含めた幅広い意見集約に努めたいと考えている。

質問 中学の生徒数減少に伴い、部活動に支障を来している状況にある。対策について当局の見解を問う。

教養委員会事務局長 生徒数の減少で、部の数の減少や団体競技でのチーム編成が難しくなるという課題がある。この対策として、合同チームによる大会参加などの例しながら、検討を進めたい。



恒久的な侵入防止柵
(金網フェンス)

※その他、次の質問がありました。
「交流人口増加に向けての取り組みについて」

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

11月14日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎おやべイルミ2016について

おやべ光のまちプロジェクト実行委員会が主催する「おやべイルミ2016」がクロスランドおやべで開催され、期間中は年末年始等の一部を除き、毎晩イルミネーションを点灯するとの報告がありました。



おやべイルミ 2016

*所管事項について、委員から意見がありました。

• 交付金の申請に当たっては、事務手続き上のミス防止のための対策を立てるべきであり、特に大きなプロジェクトについては、しっかりとした職員体制で取り組む必要があるのではないか。

• アウトレット周辺の店舗は、市外からも多く利用されているため、店内に定住促進や観光関連のパンフレットを設置してもらうことなどにより、小矢部市の知名度向上につなげることができないのではないかと。知名度向上に向けた取り組みを検討してほしい。

産業建設常任委員会

11月15日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

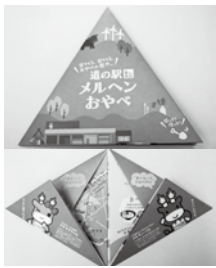
*市当局からの報告事項

◎平成28年度除雪計画について

冬期間（3月末まで）における道路除雪実施計画の策定について報告がありました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

• 現在作成中の「道の駅メルヘンおやべ」のパンフレットについて、手に取りやすく持ち運びしやすいものになるよう配慮してほしい。



新しく作成された道の駅のパンフレット

• 捕獲したイノシシの処理方法について、現在は人力で穴を掘り、埋設処理を行っているため、処理に要する負担が大きい。処理負担の軽減に向けた調査・検討を行ってほしい。



捕獲したイノシシ埋蔵用の穴掘り風景

民生文教常任委員会

11月2日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成29年度おやべ型1%まちづくり事業の募集について

平成29年度の募集方法等について、次の3点の見直しを行ったとの報告がありました。①事業申請時の見積書提出の省略化、②採択後の支出内容変更時の手続き緩和、③事業募集期間の2段階化。

◎小矢部市立統合こども園構想検討委員会の開催について

大谷小学校区及び蟹谷小学校区統合こども園の基本構想を策定するにあたり、統合こども園の運営や設備機能について意見を徴収するための検討委員会を開催したとの報告がありました。

統合が検討されている保育所

蟹谷小学校区	大谷小学校区
北蟹谷保育所	松沢保育所
荻波保育所	正得保育所
東蟹谷保育所	荒川保育所
	若林保育所



◎市民体育館耐震補強事業に係る改修計画(案)について

市民体育館の耐震補強等工事として、指定避難所としての耐震基準を満たすため、所要の補強工事を実施し、あわせて安全性を確保するために外壁周りの改修工事を実施するとともに、大規模改修工事として、利用者の利便性を

高めるため、アリーナの床、内壁の全面張替及び照明設備の更新等の改修工事を実施するとの報告がありました。

＊所管事項について、委員から意見がありました。

・次期の学習指導要領の中で、小学校に対して英語教育の推進が図られるとのことであるが、学校現場の声も聞き、どのような指導・人材配置をすべきかを調査したうえで、取り組むこと。

駅周辺整備特別委員会

11月14日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

＊市当局からの報告事項

◎石動駅周辺整備実施設計に基づく合築施設工事の仮駅舎の有無による比較検討について

石動駅周辺整備工事を行う際の仮駅舎の設置の有無について比較検討を行った結果、経費の面や利用者の利便性向上などの面を考慮し、仮駅舎を設けずに工事を行うことを検討しているとの報告がありました。

◎石動駅施設及び南北自由通路建設工事に係る工事委託契約締結の予定について

石動駅施設及び南北自由通路建設工事を行う際の契約予定金額や工事委託範囲について報告がありました。

人口対策等特別委員会

11月16日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

＊所管事項について、委員から意見がありました。

・人口増対策で必要なのは、働く場所を作ることである。今後とも、積極的に企業や商業施設の誘致に努めてほしい。

・中学2年生で行われる14歳の挑戦は、高校生が就職する際の礎となっていると考えられるため、高校で出前講座を開き、地元に着用を持たせる環境づくりを行えば、大学を卒業しても県外から戻ろうという気持ちが生えるのではないか。

・市外から市内の高校に通う生徒達が数多く見受けられる。これらの生徒達も、高校卒業後に市内企業に就職してもらうことで本市への転入者増加につながるのではないかと。



行政視察報告

総務常任委員会

【日程】
11月30日

【委員名】

◎福島正力 ○中野留美子
中田正樹 石田義弘
嶋田幸恵

【視察先】

新潟県十日町市

当委員会では、全国各地で地震等の自然災害が頻発している状況にあることから、本市での防災体制の確認や、緊急事態に対処するため、中越大地震から復興へと歩んできた十日町市への視察を行いました。



にしています。

(3) 自主防災組織の活動について

自主防災組織は、98.9%の高い率で設立されています。地域別訓練として、消火訓練、救命・救助訓練、防災講話を実施しており、DIG(図上訓練)を行うことで、実際の災害に備えています。

(4) 防災ラジオについて

エフエム告知受信機(防災ラジオ)が、住宅や企業に無償貸与されています。災害時等に、緊急割込み放送を行い、電源を切ついても強制起動して、最大音量で放送が流れるとの説明がありました。緊急情報を、市内に一斉に提供する体制を整えていました。

(5) 女性防火クラブの活動について

女性防火クラブは、手作り防災力カクを活用して幼少期の防火防災意識の向上に取り組んでいます。地域に根ざした防火防災の広報活動を行うことが、地域のコミュニティづくりにもつながっていました。

●災害に強いまちづくりについて

(1) 中越大地震からの復興について
十日町市は、中越大地震や、長野県北部地震以外に、地すべりや豪雨、豪雪と自然災害が頻発する地域であるため、災害に強いまちづくりを目指して、地域の防災力を高める取り組みを行っています。

(2) 十日町市防災基本条例について

市の防災の道しるべとなる防災基本条例が制定されており、自助・共助・公助で防災対策に取り組む体制を明確



駅周辺整備特別委員会

【日程】
11月7日～8日

【委員名】	【視察先】
◎尾山喜次 中野留美子 藤本雅明 石田義弘	島根県江津市
○吉田康弘 義浦英昭 福島正力 砂田喜昭	

●江津駅前地区再生整備基本計画について

江津市では、中心市街地を駅前地区ゾーン・シビックセンターゾーン・商業集積ゾーンの3つの区域に分け、それぞれの区域が担う都市機能を明確にし、中心市街地の再開発を行っています。また、駅前にある閉店した大型商業施設の再開発を市が行い、複合公共施設の整備を実施していました。なお、整備にあたっては、市の負担が大きくなるような国の交付金を活用していません。

あわせて、中心市街地活性化推進事業を実施し、民間主導での中心市街地の活性化に取り組んでいました。



●江津駅前ホテルの建設経緯等について

江津市では、空洞化が進む駅前地区ゾーンの再生を図る一環として、市と商工会議所が中心となってフランチャイズ方式で運営するホテルチェーンを誘致していました。ホテル建設事業に当たっては、市内企業有志により株式会社を設立するとともに、市民や商工事業者に広く出資を募ることにより資金を確保していました。そのほか、金融機関やふるさと融資、市からの無利子融資を活用していました。



人口対策等特別委員会

【日程】
11月9日～10日

【委員名】	【視察先】
◎沼田信良 山室秀隆 白井 中 宮西佐作	福井県勝山市 岐阜県大垣市 岐阜県山県市
○中田正樹 加藤幸雄 嶋田幸恵	

●子育て支援日本一への取組みについて

勝山市は、育成奨励金として、第3子30万円、第4子40万円、第5子以降50万円を毎年10万円ずつ分割して支給し、児童へはインフルエンザ予防接種費用の助成を行い、児童センターでは児童を無料で受け入れていました。また、常勤の産婦人科医がいなかったことから、市内総合病院で検診し、県内の病院で出産した場合に妊婦奨励金を支給していました。充実した子育て支援策を通じて少子化対策に取り組んでいます。



●子育て日本一への取組みについて

大垣市は、第3子以降の出産に対し出産祝金を支給し、高校生世代までの

子どもの医療費を無料にしています。未就学児を同伴して路線バスに市内乗降した場合、全員の運賃が無料になる支援も行っていました。就学前児童に同じ教育と保育の機会を提供するため、幼保一元化も推進していました。また、子育て支援条例を制定するなど、積極的な子育て支援策を推進していました。



●まちづくり振興券交付事業について

山県市は、市が実施する助成事業について、市内の取扱店で利用できる「山県まちづくり振興券」で交付していました。出産祝金や福祉医療費助成など、市が実施する11事業で振興券が交付され、市内での消費喚起に役立てられています。

●結婚支援事業について

山県市は、市直営で結婚相談所（マリッジサポートセンター）を開設して出会いの場を創出し、定住人口の増加や地域社会の活性化に取り組んでいます。



委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、平成二十七年年度決算における不用額については、適正かつ効率的な予算執行の結果であると思うが、補助認定の縮減等における事業未実施分等の不用額については、判明した時点において、早急に補正を行うなど、予算の有効利用のためにも適宜・適正に対応すること。また、予算要求段階においても国等からの情報を的確に収集するとともに、適正な見積もり徴集等を実施すること。

第二に、年間を通じて、施設等の維持管理や保守点検業務の委託を行うものについては、その業務の内容を精査し、長期継続契約への移行も視野に入れ、適正な施設管理に努めること。

第三に、平成二十七年年度に発生した大規模な上水道の漏水事案については、様々な要因が重なり対応が遅れたとのことであるが、今回の事案を教訓として迅速に対応できるよう体制を整えるとともに、日々の点検や技術の向上に努めること。

第四に、市内にはふるさと歴史館等の文化財的にも貴重な施設が数多くあることから、それらの施設を大いに活用し、子どもたちへのふるさと教育の

推進を図るとともに、交流人口の増加を図ること。また、体育施設をはじめとする各種公共施設においても、現状を把握し、より市民が利用しやすい施設になるよう管理運営の改善に努めること。

総務常任委員会

一点目は、予算執行を行う上で、国県の補助金を受けて実施する事業も発生するが、万全の体制で事務を進め、健全な財政運営に努めること。

二点目は、防火・防災について、当委員会が、中越大震災から復興へと歩んできた地域へ視察を行ったところ、自らのことは自らが守る「自助」、地域において互いに助け合う「共助」、市が安全を確保する「公助」の理念に基づき、防災基本条例を制定し、市民事業者、自主防災組織、市および議会が一体となって取り組む体制作りを進めていた。また、「小さいうちから防災教育を」として、幼少期における防火防災意識の啓発に取り組む活動も進められていた。近年、全国各地で、地震等の自然災害が多発していることから、災害対策の機能を強化し、防災・減災対策を推進することで、災害に強いまちづくりを目指すこと。

三点目は、首都圏にて、小矢部市をPRするイベントが開催されるが、市も連携・協力して、小矢部市の魅力発信に力を入れること。また、イベントの開催については、単発で終わることなく、継続して実施できる環境を整えること。

ること。

産業建設常任委員会

一点目は、石動駅施設及び南北自由通路建築工事について、工事の施工に当たり、地元資器材等が利用されるように、あいの風とやま鉄道株式会社に申し入れし、調整を図るよう努めること。

二点目は、下水道基本計画の見直しを行うに当たり、下水道未整備地区の早期整備を目指すとともに、費用対効果を十分に勘案し、適正かつ着実に事業を推進すること。

三点目は、おやべ型産業観光の活用方法について、近年の少子高齢化に伴う労働力人口の減少等により、市内の企業においても働き手が不足する状況が散見される。労働力を確保するため、おやべ型産業観光を有効に活用し、将来の働き手となる市内三校の高校生に参加してもらう体制を構築するなど、人材確保の観点からも市としておやべ型産業観光を支援していくこと。

民生文教常任委員会

一点目は、今回の交付金の返還事案を踏まえて、今後より一層、国等の交付金・補助金の制度内容をしっかりと把握したうえで、担当課のみならず市全体で情報を共有するとともに、主務者、副主務者間や課全体でのチェック体制をさらに強化させること。また、

今後二度とこのようなことが起きないように、今回の事案を教訓として、全職員が更に適正な職務執行に努めること。

二点目は、統合こども園について、アンケート結果や建設予定地が、今回示されたところであるが、市民へも適正なタイミングで情報を公開していくとともに、アンケート結果等を踏まえ、基本構想の策定を適正に進めること。また、統合対象となる現保育所の新たな活用についても、地元との協議を進めること。

三点目は、本市には優れた「子育て支援制度」が多くあることから、母子健診等のタイミングをとらえ、制度の周知に努めるとともに、一層の定住に繋がるよう市内外への情報発信にも努めること。

平成28年度 議長交際費支出状況

平成28年4月～平成28年11月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	26	317,640
① 御祝・寸志	9	76,600
② 激励金	8	166,000
③ 香典・供物	9	75,040
2 協賛費	13	54,582
3 会費・懇談会費	25	216,947
4 その他	7	40,304
合計	71	629,473
平成28年度予算額		1,400,000
執行率		44.96%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成28年9月24日～12月5日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
28. 10. 4	栃木県壬生町議会 (会派)	10	-	・認知症あんしんネット「小矢部市認知症地域支援体制構築等推進事業」について
10. 13	大分県日田市議会 (教育福祉委員会)	6	2	・認知症地域支援事業の取組について
10. 17	京都府舞鶴市議会 (会派)	8	-	・三世代同居推進事業について
10. 20	福岡県飯塚市議会 (会派)	2	-	・おやべ型1%まちづくり事業について
	京都府木津川市議会 (産業建設常任委員会)	7	1	・観光交流施策の推進について ・おやべ型1%まちづくり事業について
11. 25	和歌山県有田川町議会 (総務文教福祉常任委員会)	8	3	・富山型デイサービスについて

平成28年は全国各地から議員69人と随員7人が本市を訪れ、行政視察を実施されました。

3月定例会の日程(予定)

3日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

6日(月)

議案調査日

7日(火)

議案調査日

8日(水)

議案調査日

9日(木)

9時 議会運営委員会

10日(金)

10時 本会議(代表・一般質問)

13日(月)

10時 予算特別委員会

14日(火)

10時 予算特別委員会

15日(水)

10時 予算特別委員会

16日(木)

10時 民生文教常任委員会

17日(金)

14時 産業建設常任委員会

21日(火)

10時 駅周辺整備特別委員会

22日(水)

14時 人口対策等特別委員会

23日(木)

10時 議会運営委員会

委員長会議

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※青色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
(※)10時午後7時とその週の午後6時から再放送予定
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様への傍聴をお待ちしております。
詳細については、市議会のHPをご覧ください。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様への傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。傍聴席は43名分あります。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話・口頭による申し込みはできません。

平成28年は、延べ62名の方が本会議を傍聴されました。



小矢部市議場

会務報告

平成28年9月24日～12月5日まで

年月日	件名	摘要	開催地
28.10.3	正副議長就任あいさつ回り	・県選出国會議員 ・関係企業	東京都
10.5	富山県市議会議長会正副議長研修会	・講演 ・施設視察	砺波市
10.6,7,11	決算特別委員会	・付託議案審査 議案第49号及び認定第1号から認定第8号まで	第二委員会室
10.13	富山県市議会議長会議員研修会	・講演	富山市
10.14	富山県西部市議会議長会正副議長研修会	・意見交換 ・施設視察	射水市
10.21	小矢部市津幡町議会議員親善交流事業	・スポーツ交流	津幡町
10.24	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・おやべで暮らそうキャンペーン in 三井アウトレットパーク 北陸小矢部の実施について他3件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.183について	第二委員会室
10.27	高岡地区広域圏事務組合議会定例会	・議事 監査委員の選任について他5議案	高岡市
10.31 ～11.2	立山の塔慰霊行事	・「立山の塔」慰霊祭 ・平和の礎・平和記念資料館等巡拝	沖縄県糸満市
11.2	民生文教常任委員会	・平成29年度おやべ型1%まちづくり事業の募集について 他2件報告	第二委員会室
11.7 ～8	駅周辺整備特別委員会行政視察	・江津駅前地区再生整備基本計画について ・江津駅前ホテルの建設経緯等について	島根県江津市
11.9	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」 停車実現期成同盟会定例会	・講演	高岡市
11.9 ～10	人口対策等特別委員会行政視察	・子育て支援日本一への取組みについて ・子育て日本一への取組みについて ・まちづくり振興券交付事業について他	福井県勝山市 岐阜県大垣市 岐阜県山県市
11.14	総務常任委員会	・おやべイルミ2016について報告	第二委員会室
	駅周辺整備特別委員会	・行政視察報告について ・石動駅周辺整備実施設計に基づく合築施設工事の仮駅舎の有無による比較検討について他1件報告	第二委員会室
11.15	産業建設常任委員会	・平成28年度除雪計画について報告	第二委員会室
11.16	人口対策等特別委員会	・行政視察報告について	第二委員会室
11.22	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・石動小学校地震改築事業に係る会計検査院指摘事項への対応について	第一委員会室
11.25	議会運営委員会	・12月定例会提出議案について等	第二委員会室
11.29	おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交歓会 in 東京	・第1部 セミナー ・第2部 交流交歓会	東京都
11.30	総務常任委員会行政視察	・災害に強いまちづくりについて	新潟県十日町市

編集後記

いよいよ今年から石動駅のリニューアル工事が始まりです。表紙でもご紹介したとおり、リニューアルにより、石動駅の利便性が向上するとともに、石動駅周辺の活性化、ひいては本市全体の活性化につながるものと大きな期待を寄せているところです。

市議会としても、平成26年9月に駅周辺整備特別委員会を設置して以来、駅施設の整備内容が利用者の求めるものとなるのか、そしてこの整備により駅周辺に新たな賑わいをもたらすことができるのかなど、市当局と積極的に議論を重ね、取り組みを進めてきたところです。

今後とも、魅力あふれる住みよい小矢部を目指して、真摯に取り組んで参りますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

今回の「議会だより」は、平成29年5月の予定です。
(議会だより編集委員一同)